

いずもぎ

議会だより



転倒予防教室

12月定例会

第62号

2009

平成21年2月5日

もくじ

・ 定例会のあらまし	2～4
・ おたずねします、お答えします	5～7
・ 町民の声「ちょっと一言」	8

発行/出雲崎町議会
責任者/議長 中川正弘
編集/議会報特別委員会

〒949-4392
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(78)4483

◆ 定例会のあらまし ◆

(会期 12月 8 日から 5 日間
12月12日まで)

* 12月議会で決まった補正予算 *

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一	般 会 計 (第4号)	119万3千円	33億6,808万2千円
一	般 会 計 (第5号)	6,498万2千円	34億3,306万4千円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第3号)	1,711万9千円	5億9,211万2千円
	介護保険事業 (第2号)	4,610万7千円	5億6,427万円
	農業集落排水事業 (第1号)	10万5千円	1億8,130万5千円

定例会は、平成20年度一般会計・特別会計補正予算、条例の一部改正など議案10件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり承認・可決しました。
また請願1件を採択、発議では、意見書2件を可決しました。

一般会計補正予算 (第4号)

おもな歳出

- ・ 中学校吹奏楽部音楽コンクール参加
助成金…………… 41万円
- ・ 学校支援地域本部事業…………… 40万8千円

一般会計補正予算 (第5号)

おもな歳出

- ・ 中越沖地震復興支援基金積立…………… 3,000万円
- ・ 住民税電算システム改修委託料…………… 1,045万8千円
- ・ 灯油購入費等緊急助成…………… 185万円
- ・ 町農業機械施設整備事業補助金追加… 238万6千円
- ・ 町酪農振興事業補助金…………… 459万3千円
- ・ 夕凧の橋復旧工事…………… 416万5千円
- ・ 街なみ環境整備工事追加 (尼瀬) …… 597万4千円
- ・ 小・中学校給食費助成金…………… 98万1千円



音楽コンクール東日本優秀演奏発表会



助かります

特別会計補正予算

おもな歳出

国民健康保険事業（第3号）

・運営準備基金積立追加…… 1,571万8千円

介護保険事業（第2号）

・介護サービス給付費…… 2,970万円

農業集落排水事業（第1号）

・職員手当追加…… 10万5千円

可決した条例制定など

◆出雲崎町税条例の一部改正

・公益法人制度改革に伴い、県の条例化に合わせて、規定するもの。

◆「平成19年新潟県中越沖地震」に係る出雲崎町復興支援基金条例制定

・東京電力から、県へ復興支援金として30億円の寄付があり、その内3,000万円が当町に配分されたものを、一度、基金で受け入れ、該当事業に充当していくための基金設置。

◆出雲崎町国民健康保険条例の一部改正

・平成21年1月に産科医療補償制度が創設されることに伴い、現行の40万円に3万円を加算し、43万円にするもの。

◆出雲崎町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

・平成18年1月から廃棄物処理事務を長岡市に事務委託しており、整合性をとるため、長岡市のし尿くみ取り手数料、10リットルごとに70円に合わせるもの。

◆公共施設の相互利用に関する協定書の一部変更

・見附市で、相互利用施設の拡大に伴う変更1件、新規追加8件、長岡市の厚生会館の廃止に伴う削除1件で、あわせて10件について変更を行うもの。



議会傍聴

可決した意見書



やすらぎの里

◆介護労働者の処遇改善をはじめ介護保険制度の改善を求める意見書

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣



船橋地内

◆道路整備財源の確保等に関する意見書

提出先

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣
経済財政政策担当大臣

議会のくまびき

(主なもの)

(平成20年10月～12月)

10・10 議会報特別委員会

20 長岡地域広域行政組合議会定例会

(長岡市)

11・24 議会報特別委員会

29 山形県金山町議会行政視察来町

町村議会議長・副議長・委員長・事務局

長研修会 (新潟市)

総務文教常任委員会

新潟県町村自治に関する研修会

(新潟市)

第52回町村議会議長全国大会 (東京都)

全員協議会

議会運営委員会

議会運営委員会

12月議会定例会招集日

宅地建物等調査特別委員会

定例会2日目(一般質問)

予算審査特別委員会

総務文教常任委員会

社会産業常任委員会

議会運営委員会

定例会最終日

全員協議会

議会報特別委員会

議会報特別委員会

一般質問

おたずねします

お答えします

定住促進策について

宮下 孝幸 議員

質問 出雲崎町は過去16年間に渡り住宅分譲を行い、役場周辺は現在、592世帯の大集落集団となりました。

勝見から井ノ鼻までの海岸全世帯が606世帯ですから、このまま行けば、海岸全世帯を超えるのも時間の問題です。定住促進には、大変有効な施策とは言え、一極に集中すれば、末端に過疎地の中の過疎地を作ってしまう。つまり団地にあつては、住いする4割弱の方が町内末端地域から移住し中央に住んだ方々です。これらの状況から、既に末端の地域では、集落や町内が維持出来ないとの声も出始めている中、何としても、これらの地域の特性を生かした施策を急がねば

なりません。

政治に課せられた最大の使命とは「日の当らない所に日を当てる」これをおいて他にないと私は確信を致しております。

便利な所に住む人も、はずれた不便な所に住む人も、所得が同じで有れば税は公平に課せられます。税に公平が有るならば、税によるサービスも又、公平でなければなりません。

100年に一度の世界的大恐慌の時、企業誘致が非現実的であるならば、宅地分譲は最も即効性の高い定住促進策と言えます。

取分け出雲崎は自然の宝庫でありますから、西越地区・海岸地区のいずれを問わず、疲弊する末端の地域

へ、海には海、山には山、あるいは農地には農地の特色を生かした新たな宅地分譲による定住促進策を行うべきと考えますが、町長の所見を伺います。

答弁 疲弊する末端の地域

へそれぞれの特色を生かした形での宅地分譲を行うべきとのご指摘でございますが、行政が土地を分譲する時、先ずは売れるのかと言う事を考えなければなりません。つまり団地購入の際にも議会で大変な議論が交された訳です。

現在、空地空家バンクを通して手立てを講じていますが、西越地区では、なかなか農業をやりたい人が見つからず、海岸にあつては、まとまった土地の確保が難しいと思っています。購入と販売の価格のバランスを考え、バンクを通して、地域の特性を生かした形で諸々確認をしながらアタックしていきます。ご提案のおもむきは理解できますが、大変難しい問題です。さりとて私は決してあきらめている訳ではありませんのでご理解下さい。



過疎化が進む末端集落

介護保険の問題について

田 辺 雅 巳 議員



敬 老 会

質問 私は、9月議会で特養ホーム「やすらぎの里」の増床について5項目について一般質問を致しましたが、特養ホーム増床についてもう1回おたずねします。

町長は、特養ホーム入所の待機者を無くすために、増床を国に働きかけるつもりです。

りはあります。また、震災復旧後に「やすらぎの里」増床を考えておられるかお聞かせ下さい。

答弁 9月定例会でも答弁しましたが、国の方針に沿って都道府県の介護保険事業支援計画あるいは市町

村介護保険事業計画で定めることになっていきます。町のいわゆる考え方は、待機者もございまして増床なり、特養なり考える要素があるのではないかということ、法人にも私の意思は伝えてございます。

これをこの法人がどのように受けとめて、どのような考え方でおられるのかというものが基本にございましてご理解いただきたい。

質問 町独自に介護保険料の減免制度をつくることです。

介護にしろる国庫負担金の割合はそれまでの50%から25%に引き下げられました。そのために介護保険料が高い最大の原因となっているもとで、自治体独自の保険料や利用料の減免制度に取り組んでいます。07年4月時点で保険料で33%、利用料21%の市町村におよんでいます。これらの市町村では国による指導をはねかえして減免制度をつくっております。

当町にとっては、所得の少ない住民にとっては「高い」という声があります。減免制度が必要不可欠ではないでしょうか。町独自に減免制度をつくってはいかがですか。

答弁 これにつきましましては、法律で定まっております、現在は財源更正というか、国が25%、県が12・5%、町が12・5%あるいは1号被保険者、2号被保険者、それらの負担割合、そしてプラス利用者の1割と、利用料が1割と、これらはもう法律で定まっておりますので、この原則は変えられない。このなかでいかに対応する。これは、条例の中で困った方なり、災害なり、その状況の中で十分その人たちの相談に応じながら対応していく。これを町が独自で負担割合を変えらるなどということは私ではきません。

町は減免制度を設けてありますから、十分対応できていると思っています。

合併せず自立への考え方は

田 中 元 議員

【質問】 合併について町長は、慎重な態度を取り続けておられます。平成の大合併が始まり県のモデルが発表、各町村間で論議が始まり当町も真剣な審議された時の一般質問で町長は、合併は避けて通れないが合併しないことがファーストベスト、セカンドベストは同規模町村が合併することとの考えで話し合いました

が、不調に終わり、町長は当面単独で進むと明言され3年が経過合併に対し当時と同じ考えですかをお聞きます。

【答弁】 状況は大きく変化しておりますが、3町合併は不発に終わったわけで残念ではありますが、結論か

ら申し上げますと当面自立を目指すという道には間違いがなかったという自負を持っています。

【質問】 財政状況が安定している現在単独というより自立をめざして、将来の展望を考えていくときと思いますがいかがですか。交付税の減額、過疎法の平成21年度期限切れ等不安な要因があるにしても、財政調整基金が13億以上、特別会計にも基金があり、対応して運営していけば同等の予算規模で10年は心配することなく運営できると考えます。

自立を名言され活気ある町造りを押し進めていただきたいと思えます。所信をお聞きます。

【答弁】 去る11月19日町村議会議長全国大会、11月26日全国町村長全国大会で、町村の実態を無視した道州制を含め、強制合併は絶対断固反対の特別決議がなされています。

そういう意味で、自立だ、単独だという名言をするよりも方針、流れを当面堅持していくべきだと思います。

進展のいかんによっては、町民の皆さんにご理解を求める機会を、持つていかなければならぬのではなからうかと考えています。



町 長 答 弁

町民の声

『ちよつと一言』

乙茂
金 泉
議

西越地区農村環境改善センター

一言ペンを執らせていただきます。先達の事ですが塵入れの中に皿の壊れた物が無造作に入れてありました。何か一言詫びの言葉があるかと思っていました、それもなく私は片付けました。些細な事ですが、その日は終日いやな気持ちでした。公共の物と私物との観点から、ややもすると自分の物でないからいいんだとか、誰かが片付けるから、或は後でもよいと思われがちです。この事は全てが自分の物として思って頂ければお互に気持ちの良い環境になると思います。

物を大切にする気持ちをつよくもって頂ければ、この上ない喜ばしいことです。物を壊そうと思って壊す人はいないでしょう。公共物と私物についてちよつと感じた事を述べさせて頂きました。

最後に何かが一寸たりない世相と諦めが先走りそうな昨今ですので、こんな時だからこそお互に助け合い懸命に生きなければと痛感しております。

表紙の小話

年をとると、ささいな段差でもつまづいて転倒してしまい、転倒がもとで寝たきりになってしまうお年寄りが多いといわれています。

教室は町が主催していますが、参加者が中心となつて転倒しないための運動や家庭でできる運動などを行っています。参加すると仲間にも会えて元気になれると皆さん喜んでいます。まだ参加されていない方も健康で過ごすために参加されてはいかがでしょうか。

(日山正雄)



あとがき

昔の人は早起きは三文の徳といいますが、皆さん朝早起きをして日の出を拜んでみませんか。気分爽快でなぜか得をした気分になります。

日本で日の出を見れる所は高い山か大洋洋側に行けば見えます。地名も何々出雲、出雲何々と言う地名が数ある中でただ一ヶ所当町と同じ出雲崎と呼ぶ地名の所が潮岬のすぐ横にあります。ご存じでしょうか。私も初めて知り仲間と出かけて来ました。

日の出を見る所は雑木林の中を通り抜けるため早朝で暗く初めてで危険なため、足場のよい所で、すばらしい日の出を堪能出来ました。又、明るくなってから雑木林の中を10分くらい歩くと目の前がバツと開け絶好の岩場も確認して来ました。もし機会があったら南紀の出雲崎より日の出を見て、日本海の出雲崎から夕日を一度見て楽しませてはどうでしょうか。

町民の方々より議会にご意見、ご感想をお寄せ下されば幸いです。

(日山正雄)

